

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 0	0	百日咳	↓ 0	3
RSウイルス感染症	↗ 15	8	ヘルパンギーナ	↓ 42	50
咽頭結膜熱	↓ 13	14	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓ 5	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓ 44	57	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 265	246	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 6	19
水痘	↓ 29	52	細菌性髄膜炎	↓ 0	1
手足口病	↓ 87	91	無菌性髄膜炎	↗ 1	0
伝染性紅斑(りんご病)	↓ 0	2	マイコプラズマ肺炎	→ 2	2
突発性発しん	↗ 48	47	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↓ 0	1

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 手足口病
- 突発性発しん

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

ヘルパンギーナ : 天草

手足口病 : 人吉、有明

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフル	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所		5	5	18	33	6	18		14		7	2		6		1	1		
山鹿保健所			2		13		4		1		1		*	*					
菊池保健所		2	1	3	59	7	12		13		7	2							
阿蘇保健所				1	3								*	*					
御船保健所					11						1		*	*					
八代保健所				3	17	4			7		2								
水俣保健所			1			1	2		2		1		*	*					
人吉保健所				8	22	2	15		1		5	1	*	*					
有明保健所		8	2	1	57	4	18		4		2						1		
宇城保健所			2	5	30	2			2		6		*	*					
天草保健所				5	20	3	18		4		10								
計		15	13	44	265	29	87		48	0	42	5	0	6	0	1	2	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	15	4	4	4	2	1																
咽頭結膜熱	13		1	5	1	2	1				3											
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44			1	5	3	4	10	2	5	4	5	3		2							
感染性胃腸炎	265	5	27	59	22	20	23	13	12	13	5	11	31	11	13							
水痘	29	1	2	11	5	4	1	2	1		1		1									
手足口病	87	3	3	31	21	18	6	3				1	1									
伝染性紅斑	0																					
突発性発しん	48	2	18	25	3																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	42	1	9	12	11	3	2	3					1									
流行性耳下腺炎	5				2		2		1													
眼科定点年齢区分	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	6													1	3	1	1					
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1										1											
マイコプラズマ肺炎	2			1	1																	
クラミジア肺炎	0																					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0																					

蚊が媒介する感染症に注意しましょう



デング熱の国内感染症例が確認されました。デング熱は、ウイルスを保有する蚊に吸血されることで感染します。今回確認された患者さんは、いずれも東京都の代々木公園の蚊による感染と推定されています。今後、感染が拡大する可能性は低いと考えられており、また、感染した場合も、一般に1週間前後で回復すると言われておりますので、以下の予防方法をしっかりと行い冷静に対応しましょう。

また、デング熱は、アジア、中南米など熱帯、亜熱帯地域で流行していますので、これらの地域に行かれる場合も同様に蚊に刺されないように対策をとりましょう。

蚊が媒介する感染症は、デング熱の他に、日本脳炎があります。県内では、現在、日本脳炎注意報を発令中です。蚊に刺されないように対策や定期予防接種を受けるなど、しっかりと予防しましょう。

なお、蚊に刺されて高熱等の症状が出た場合は、かかりつけの医療機関を受診してください。

デング熱について

感染経路

- ・ウイルスを保有する蚊(ヒトスジシマカ、ネッタイシマカ)が人を吸血することで感染する。
- ・人-蚊-人の経路で感染が伝播し、人から人への感染はない。
- ・ヒトスジシマカは、青森以南の地域で見られる蚊で、ネッタイシマカは日本には常在しない。

症状

- ・3~7日(2~15日)の潜伏期の後、突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、皮疹などの症状がみられる。
- ・通常は、1週間程度で回復するが、ごく一部の患者は重症化してショック症状や出血傾向を呈することがある。

予防方法

- ・特に日中、蚊との接触をさける。
 - ①長袖、長ズボンを着用し、素足でのサンダル履き等は避ける。
 - ②虫除け剤の使用によって、屋外だけでなく、屋内でも蚊に刺されないように注意する。
 - ③室内の蚊の駆除を心がける。
 - ④蚊幼虫の発生源を作らないように注意する。
- ・実用化されたワクチンはない。



KKT医療ナビ! Dr. テレビたん

KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課